



応援します！ あなたのチャレンジを

平成16年度 要覧



福岡県立社会教育総合センター



運営方針と重点目標

1 運 営 方 針

県立社会教育総合センターは、本県における生涯学習推進の中心的な施設として、市町村や関係団体等の生涯学習を振興する活動と県民一人ひとりの自主的・主体的な学習活動の支援に努めます。

2 重 点 目 標

上記の運営方針の基に、平成16年度は「福岡県教育行政の目標と主要施策」に掲げる主要施策「志を持ったたくましい青少年の育成」及び「豊かな人生と未来を拓く生涯学習社会の実現」を具現化するために次のとおり重点目標を定めます。

教育行政主要施策 1 志を持ったたくましい青少年の育成のために

(1) 「青少年アンビシャス運動」を積極的に推進するとともに青少年の体験活動の機会・場の充実に努めます。

- ①県体験活動ボランティア活動支援センターの充実
- ②学社連携・融合事業の推進
- ③モデル的・先導的事業の開発
- ④野外活動・団体宿泊活動の支援

(2) 家庭と地域の教育力の向上に努めます。

- ①家庭教育についての情報提供・相談活動の充実
- ②子育てグループ・団体の育成とリーダーの養成
- ③体験活動指導者の育成

教育行政主要施策 2 豊かな人生と未来を拓く生涯学習社会の実現のために

(1) 学習の機会・場の拡充に努めます。

- ①施設利用の促進
- ②施設利用者の学習活動を支援するサービスの向上
- ③高等教育機関等と連携した社会人のための学習機会の提供

(2) 調査研究活動の充実に努めます。

- ①生涯学習・社会教育行政推進に必要なデータの収集・整理・提供
- ②生涯学習情報ネットワークについての調査研究
- ③家庭教育についての調査研究
- ④施設における学社連携・融合についての実証的研究

(3) 学習情報提供・学習相談活動の充実に努めます。

- ①情報提供システムの整備充実
- ②学習相談活動の充実
- ③県視聴覚ライブラリーの活用促進

(4) 研修事業の充実に努めます。

- ①生涯学習・社会教育行政職員等研修の充実
- ②生涯学習・社会教育関係団体等民間指導者研修の充実
- ③実践研究・交流研修の推進

(4) 学習ボランティアセンター機能の整備充実に努めます。

- ①学習ボランティアについての情報の収集・提供・相談体制の整備充実
- ②学習ボランティア受入れの推進と活動の充実
- ③学習ボランティアの養成



目 次

平成16年度事業と予算	02
1. 事業	
2. 平成16年度予算	
平成15年度実績	06
1. 主催事業	
2. 施設の利用状況	
3. 学習相談状況	
4. 家庭教育相談「親・おや電話」状況	
施 設 概 要	13
1. 建築概要	
2. 施設概要	
3. 福岡県視聴覚ライブラリー	
4. 利用案内	
5. 使用料一覧	
組 織 ・ 機 構	19
職員数・職員一覧	20
沿 革	21
施 設 配 置 図	23
交 通 案 内	24

県立社会教育総合センターは昭和59年4月に県立社会教育総合センター少年自然の家との複合施設として設置され、今年で21年目を迎えます。県民の生涯学習を支援する社会教育施設として、①生涯学習に関する調査研究と教材の開発、②学習情報の提供と学習相談事業、③研修事業と指導者の育成、④青少年健全育成と団体活動の振興に取り組んでいます。



平成16年度事業と予算

1 事業

① 青少年体験活動推進事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
県体験活動ボランティア活動支援センターの運営 ☎ (092) 948-0728	コーディネーターを中心に県内の各市町村体験活動ボランティア活動支援センターのネットワーク化を図りながら、青少年が行う体験活動についてWeb上や情報誌等での情報提供、電話やEメールでの相談活動や調査研究を実施する。	県民、学習ボランティア関係団体、社会教育関係者、NPO法人等	通 年
青少年体験活動ボランティア活動コーディネーター等研修	子どもの体験活動を充実させるため、体験活動の機会や場の開発、情報収集・提供、学校と活動先とのマッチング等コーディネート機能の向上を図る。	市町村支援センターのコーディネーター、社会教育・学校教育関係者、NPO・ボランティア関係者	6月22日（火） 2月9日（水）
生きる力を育む子どもの体験活動推進セミナー （学社連携・融合事業）	市町村等で実施されている「子どもの体験活動」についての実践を持ち寄り、学校教育と社会教育の連携・融合の推進を図りながら、子どもの生きる力を育むための方策を協議する。	市町村支援センターのコーディネーター、社会教育・学校教育関係者、PTA・NPO・ボランティア関係者 300名	11月26日（金）
青少年体験活動「ワーク・ドキドキ・ウィークエンド」	○1泊2日の自然体験、異年齢生活体験を中心とした様々な体験活動を提供する。 ○近隣高校生・中学生のボランティア体験学習を兼ねる。 ○県内大学・専門学校生がボランティアとして参加する。	小学1～6年生、外国人児童 100名	第1回（1泊2日） 5月29日～30日 第2回（1泊2日） 7月10日～11日 第3回（1泊2日） 12月4日～5日 *全て土・日
「和き合い愛塾」in ささぐり	○養護学校との連携事業 ○障害のある子どもたちに自然体験、宿泊体験などの体験活動機会を提供する。 ○保護者に家庭教育相談や情報交流の場を提供する。 ○近隣高校生のボランティア体験学習を兼ねる。 ○県内大学・専門学校生や芦屋町ライフセイビングクラブ等がボランティアとして参加する。	障害のある児童・生徒とその家族 20家族程度	第1回（1泊2日） 8月21日（土） ～22日（日） 第2回（1泊2日） 10月16日（土） ～17日（日） 第3回（1泊2日） 3月12日（土） ～13日（日）

② 家庭と地域の教育力支援事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
家庭教育相談電話「親・おや電話」 ☎ (092) 947-3515	主として、幼年期から少年期における子どもの保護者を対象に、家庭教育全般にわたる相談に応じる ・電話による相談 ・面接による相談	親（保護者）等	月～土曜日 9時～24時 24時～9時は、留守番電話とファクシミリで対応 （第2月曜日、祝日、年末年始は除く。）
カウンセリング研修会 ※（地域社会人キャリアアップ推進事業：文部科学省委託）	電話相談員等としての基礎的知識・技術の習得、向上を図る。 （30時間程度）	県・市町村教育委員会及び各相談機関で相談業務に従事する相談員	予定として9月以降 4～5日程度開催
福岡県子育てサポーターリーダーセミナー ※家庭教育支援総合推進事業（文部科学省委託）	子育てサポーター等が、相互の実践や情報等を共有し、また子育て支援に関する専門的知識や技能の習得を通して、子育てサポーターリーダーとしての資質の向上を図る。	子育て（支援）グループ関係者、地域婦人会関係者、おやじの会、その他子育て支援に関心のある方	予定として9月以降 3日程度開催 （地域家庭教育推進協議会で検討）

③ 学習の機会・場の拡充事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
施設開放事業 (1) 子どもの体験活動カーニバル	地域住民に施設を無料開放し理解や交流を図る (1) テナント方式の体験活動コーナーを設ける	(1) 篠栗町内を中心とした地域住民（親子等）及び県内の体験活動支援者	(1) 11月14日（日）
(2) ゆず湯の会	(2) 公演会、クラフト活動、食事、入浴等	(2) 篠栗町内を中心とした地域住民	(2) 12月18日（土）

④ 調査研究事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
生涯学習情報ネットワークに関する研究開発	生涯学習に関する体系的な情報提供システムの調査研究を行う。高速インフラ（ふくおかギガビットハイウェイ）を使った情報提供システムについては、テレビ会議システム、オンデマンド学習等の可能性を探る。	県民一般、県、市町村、各施設	通 年
福岡県の生涯学習・社会教育基礎データの収集・整理	15年度に作成した福岡県の生涯学習・社会教育の基礎データを基に、資料を更新し、より多くの資料収集に努める。		通 年
「地域社会人キャリアアップ推進事業」の実施	地域の事情に応じ離職者等社会人の職業能力を拡大する場や機会を提供し、地域人材の育成を図る事業を実施していく。	県民一般（離職者等社会人）	予定として10月以降6日間程度開催
家庭教育調査研究事業20年のまとめ	幼小中の子どもを持つ父親・母親の養育態度に関する調査20年間のデータ整理		通 年
学社連携・融合に関する実証的研究事業	施設における学社連携・融合プログラムの実証的な研究を行う。 (1) セカンドスクールの実証的研究事業	(1) 宇美町立桜原小学校5年生90名	(1) 10月4日（月）～8日（金）※4泊5日
	(2) 施設利用学校のプログラム開発	(2) 施設利用の小・中・高等学校	(2) 通 年

⑤ 学習情報提供・学習相談事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
学習情報の収集・整理・提供システムの整備	生涯学習に関する情報を収集・整理し、県民に提供するために、ふくおか生涯学習ネットワークにおいて、Webページの新設、情報の更新、リンクの拡大等を図る。	県民一般、県、市町村、各施設	通 年
生涯学習情報通信「新しい風」のWeb上の公開	生涯学習・社会教育を中心とした各施設、国、県、市町村、各団体等に最新情報をWeb上で提供する。また、メールマガジンの発行と関連させながら、利便性のより一層の向上を目指す。	社会教育各施設、国、県、市町村、各団体、一般県民	適宜更新
メールマガジンの発行	県内の市町村、学習グループや団体、生涯学習・社会教育に関心がある個人などを対象として、社会教育総合センター、県の社会教育施設、市町村に関する情報を中心に、講座、研修、事業案内等を事業の実施時期に合わせて、電子メールで送付する。	県内の市町村、社会教育施設、学習グループ、団体、個人（登録した方のみ）	定期発行（月1回）、臨時発行（事業等がある際、適宜送信する）
テレホンサービスの実施 ☎ (092) 947-8222	社会教育総合センターにおける実施事業等の学習情報を音声により提供する。	一般県民（視覚に障害のある人を含めて）	通 年
学習相談の対応と資料整備 ☎ (092) 948-0728	生涯学習・社会教育に関する資料を整理し、データベース化を図るとともに、学習者の求めに応じて学習相談・情報提供を行う。	県民、行政関係者、社会教育関係者等	通 年

事業名	ねらい・内容	対象	期間
学習相談基礎研修	市町村の学習相談関係者に相談のあり方や流れ等の研修の場を設定し、学習相談事業の充実を図る。	学習相談担当者、学習相談関係者	8月30日（月）
視聴覚ライブラリーの活用促進（視聴覚教材の収集・貸出）	社会教育、学校教育において効率的な学習活動の推進に資するため、広く広報活動を行い活用の啓発を図るとともに視聴覚教材の収集や貸出を行う。	県、市町村、学校、施設、団体等関係者	通 年
16mm映写機操作技術認定講習	16mm映写機の操作技術の認定講習会を行う。	県、市町村、学校、施設、団体等関係者	8月9日（月） 10月19日（火） 2月5日（土） ※全3回
社教センター紹介CDの作成	社会教育総合センターの利用の促進を図るため、利用団体向けに、社教センターの歴史、各施設・設備やそれを活用した活動の具体例等を紹介するCDを作成する。	社教センター利用予定者	随 時

⑥ 研修の充実事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
社会教育関係新任課長、館長、係長等研修	生涯学習・社会教育行政を統括する者として必要な理論及び施策についての研修を行い、管理監督者としての資質向上を図る。	県・市町村の生涯学習・社会教育関係新任課長・公民館長・係長等	6月18日（金） 1月27日（木）
社会教育関係新任職員研修	生涯学習・社会教育行政の推進に必要な基本的知識・技能についての研修を行い、生涯学習・社会教育行政職員としての資質の向上を図る。	県・市町村の生涯学習・社会教育関係新任職員・新任公民館職員等	7月7日（水） 9月8日（水） 10月28日（木）
市町村社会教育委員新任者研修	新たに委嘱された市町村の社会教育委員を対象に、社会教育委員の役割や任務、内容等について研修する。	市町村社会教育委員就任後1年未満の者及び市町村社会教育行政関係者等	6月9日（水）
福岡県社会教育主事等新任者研修会	社会教育主事等の役割や基本的知識・技能について研修を行い、専門職員としての資質の向上を図る。	県及び国立夜須高原少年自然の家の新任の社会教育主（補）等	4月20日（火）
ふくおか高齢者大学事務局担当者研修	ふくおか高齢者大学の事務局担当者を対象に、現代の高齢化社会に対応した社会参加プログラムの開発や学習の成果等を活かす実践活動拡充の方策を探る。	ふくおか高齢者大学事務局担当者及び県・市町村担当者等	6月29日（火） 2月25日（金）
行政職員のための、パワーアップ共生学（男女共同参画社会実現のために）	県・市町村の生涯学習・社会教育関係職員等を対象に、男女共同参画社会の実現のために必要な基本的事項について研修する。	県及び市町村の生涯学習・社会教育関係職員・男女共同参画行政担当職員等	7月2日（金）
学習プログラム企画・立案講座	生涯学習・社会教育行政を推進するために、現代的課題に対応した学習プログラムの企画・立案の手法等について研修する。	県及び市町村教育委員会生涯学習・社会教育関係職員	1月13日（木） 1月20日（木） 1月21日（金）
シリーズ「社会教育行政セミナー」	生涯学習・社会教育行政の根幹をなす今日的テーマをとりあげ、課題解決の方策を探り、社会教育関係者の資質の向上を図るとともに、社会教育行政の一層の振興・発展に資する。	県及び市町村教育委員会生涯学習・社会教育関係職員	7月14日（水） 11月17日（水）
マルチメディア研修	福岡県内における生涯学習関係機関等間のWeb上でのネットワーク化を図るために、市町村、社会教育関係機関職員を対象にパソコンを使ったホームページ作成の具体的な研修を行う。	市町村、社会教育関係機関職員	11月18日（木） 11月19日（金）

事業名	ねらい・内容	対象	期間
初心者IT講習	社教センターを使っている学習グループと連携しながら、県民のITの向上を目指し、初心者向けのインターネット（パソコン一般を含む）に関する講習会を行う。	県民一般	未定（年間12日、4半期に1回、3日間程度）
楽しく生きる共生学セミナー（男女共同参画社会実現のために）	各種女性団体リーダーを対象に、男女共同参画社会の実現のために必要な基本的知識・技能について研修を行うとともに、各女性団体の活性化を図る。	各種女性団体指導者、県及び市町村教育委員会担当職員等	11月13日（土）
中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会（共催事業）	「まちづくり」「ひとづくり」に取り組んでいる関係者が一堂に会し、実践発表をとおして相互の交流を図る。	生涯学習・社会教育関係者等	5月15日（土） ～16日（日） ※1泊2日
福岡県青年大会（共催事業）	芸能文化における日頃の青年活動の成果や個人の意見を発表しあい、これをとおして相互に友好を深めながら、健康で文化的な生活を形成し、健全な郷土社会の建設に寄与する。	県内に居住している青年及び青年を中心に活動している団体	9月5日（日）

⑦ 学習ボランティアセンター機能整備充実事業

事業名	ねらい・内容	対象	期間
社会教育総合センターボランティア研修（全体研修）	社会教育総合センターで活動するボランティアの養成研修 ○ボランティア活動の意義、活動説明、ボランティア実習 ※「若杉の会」と連携	社会教育施設でボランティア活動に携わっている者及び志す者 100名	6月12日（土） 6月13日（日）
自然体験活動サポーター養成講座	社会教育総合センターを舞台にし、青少年の自然体験活動を支援する基礎的な知識や技能を修得する機会を提供する ○大学等との連携の推進 ○修了生を施設等でのボランティア活動につなげる ※「若杉の会」との連携	社会教育施設でボランティア活動に携わっている者及び志す者 20名	7月17日（土） ～18日（日） ※1泊2日
「ものづくり」サポーター養成講座	青少年等のクラフト活動などを支援するボランティアを養成する ※「若杉の会」との連携	社会教育施設でボランティア活動に携わっている者及び志す者 30名	11月21日（日） 1月30日（日）

2 平成16年度予算

単位：千円

課 名	区 分	目 名	事 項 名 （ 事 業 名 ）		予 算 額
生涯学習課	国庫補助事業	社会教育総務費	社会教育指導者等研修事業費	女性教育指導者研修費	173
				社会教育専門研修	34
			青少年教育振興事業費		98
	県単独事業	社会教育施設費	家庭教育充実事業費		4,658
			体験活動支援事業費		1,125
			障害児体験活動支援事業費		1,647
			生涯学習情報提供システム運営費		4,639
			社会教育総合センター運営費		89,304
			社会教育総合センター事業費		1,603
	合 計				106,103



平成15年度実績 ～こんなことをしました～

1

事業

① 青少年体験活動推進事業

事業名	対象	期間	参加者数等
県体験活動ボランティア活動支援センター	・ボランティア活動志望者等	通 年	
青少年体験活動ボランティア活動コーディネーター等研修	・子どもの体験活動コーディネーター及び市町村担当者等	6月20日(金) 11月14日(金) 2月4日(水)	61名 350名(フォーラムと兼ねる) 81名
学社連携・融合に関する実証的研究事業	・施設利用者の小・中・高等学校等	通 年	
学社連携・融合実践研究セミナー	・小・中学校及び高校の教員、社会教育関係職員等	8月27日(水)	80名
青少年体験活動「ワクワク・ドキドキ・ウィークエンド」	・小学生・日本在住の外国人児童	5月10日(土)～11日(日) 7月12日(土)～13日(日) 11月15日(土)～16日(日)	107名 103名 124名
子どもの体験活動カーニバル	・幼児・小学生とその保護者	11月16日(日) (創立20周年記念行事)	800名
障害のある子どもと保護者の体験活動「親子ワイワイ・ウィークエンド」	・障害のある児童・生徒とその保護者 各回15家族程度	10月18日(土)～19日(日) 12月13日(土)～14日(日)	9家族10名 13家族43名

② 家庭と地域の教育力支援事業

事業名	対象	期間	参加者数等
「親・おや電話」	・親(保護者)等	月曜日～土曜日 9:00～24:00 但し、第2月曜日、祝日、 年末年始(12/18～ 1/4)を除く	相談件数 1,525件
子育て活動支援シンポジウム	・子育てグループ活動アドバイザー、 市町村家庭教育・子育て支援事業 担当者、おやじの会、社会教育関係 職員等	9月3日(水)	120名
自然体験活動指導者養成講座	・18歳以上で自然体験に興味関心 のある方	6月28日(土)～29日(日) 9月20日(土)～21日(日)	20名 20名
第2回子どもの体験活動支援フォーラム(創立20周年記念事業)	・社会教育・学校教育・NPO関係者、 その他関心のある方	11月14日(金)	350名

③ 学習の機会・場の拡充事業

事業名	対象	期間	参加者数等
沖縄三線と舞踏のつどい (創立20周年記念施設開放事業)	・地域住民	8月29日(金)	250名
ゆず湯の会 (創立20周年記念施設開放事業)	・地域住民	12月20日(土)	250名
地域社会人キャリアアップ推進事業 ①MOUS資格取得対策講座 ②カウンセリング研修	①社会人(離職者等) ②相談業務に従事する相談員	①11月24日(月)～28日(金) ②11月19日(水)、24日(月) 12月5日(金)、13日(土)、 21日(日)	①20名×5 ②30名×5

④ 調査研究事業

事業名	対象	期間	参加者数等
生涯学習についての基本調査及び研究		通 年	
生涯学習ネットワークについての調査研究		通 年	
家庭教育に関する調査研究事業		通 年	
青少年の体験活動に関する調査研究事業	中・高校生	通 年	

⑤ 学習情報提供・学習相談事業

事業名	対象	期間	参加者数等
「ふくおか生涯学習ネットワーク」情報システム	・県及び市町村立社会教育施設等 ・県民一般	通 年	アクセス件数 62,047件
生涯学習情報通信「新しい風」のWeb上の公開	・県民一般	年6回更新	
メールマガジンのシステム研究開発と導入	・県民一般	通 年	
テレホンサービス	・県民一般	通 年	
学習相談 専用電話	・県民一般	通年 休所日を除く	相談件数 1,464件
学習相談基礎研修	・県・市町村教育委員会や関係機関で学習相談に携わる人	8月28日(木) 1月30日(金)	12名 13名
学習資料の収集・整理・提供	・県民一般 ・市町村教育委員会	通 年	
県視聴覚ライブラリーの運営	・県民一般	通 年	
図書資料サービス	・県民一般	通 年	
16ミリ映写機操作技術認定講習会の開催	・県・市町村教育委員会の社会教育関係職員	10月3日(金) 10月4日(土) 12月12日(金) 12月13日(土)	10名 7名 7名 5名

⑥ 研修の充実事業

事業名	対象	期間	参加者数等
社会教育関係新任課長・係長等研修	・県・市町村教育委員会の社会教育関係新任課長、新任係長及び新任公民館長	7月9日(水) 1月29日(木)	80名 49名
社会教育関係新任職員研修	・県・市町村教育委員会の社会教育関係新任職員及び新任公民館職員	7月3日(木) 9月9日(火) 11月20日(木)	77名 58名 50名
市町村社会教育委員新任者研修	・市町村の新任社会教育委員、市町村社会教育関係者	6月11日(水)	112名
ふくおか高齢者大学事務局担当者研修	・ふくおか高齢者大学事務局担当者及び関係職員等	6月25日(水) 2月25日(水)	33名 46名
男女共同参画社会推進講座	・県・市町村教育委員会の生涯学習、社会教育関係職員	12月3日(水) 12月4日(木)	24名 24名
学習プログラム企画立案講座	・県・市町村教育委員会の社会教育関係職員、社会教育関係者	1月14日(水) 1月15日(木) 1月23日(金)	27名 20名 16名
マルチメディア活用研修(ホームページ作成研修)	・県・市町村教育委員会の社会教育関係職員	12月1日(月) 12月2日(火)	19名 19名
女性団体指導者研修	・各種女性団体指導者及び県・市町村女性教育担当者	6月8日(日) 10月11日(土) 10月12日(日)	75名 21名 21名
県青年大会	・県内の青年団員及び青年	9月7日(日)	100名
中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会(第22回大会)	・生涯学習・社会教育関係者等	5月17日(土)～18日(日) 前夜祭 5月16日(金)	378名
社会教育主事実践交流会	・県・市町村教育委員会の社会教育主事	12月12日(金)	28名

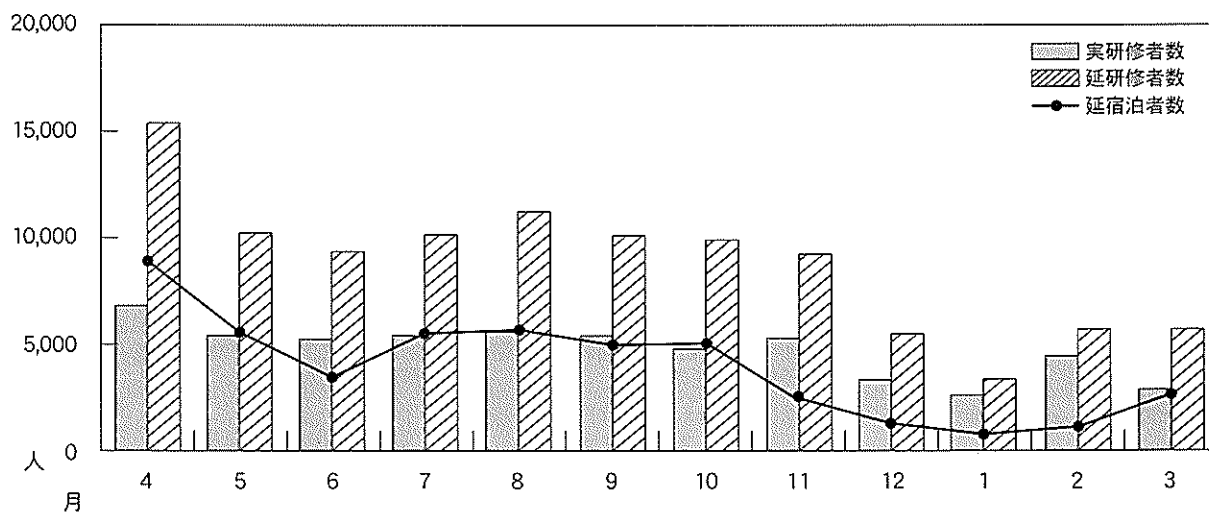
⑦ 学習ボランティアセンター機能整備充実事業

事業名	対象	期間	参加者数等
学習ボランティア関係資料収集・整理・提供	・県民一般	通 年	
活動の場(受け入れ先)の開発	・当センターボランティア及びボランティア活動の希望者	通 年	
ボランティア研修 ～社会教育総合センターでボランティアをやってみませんか～	・当センターボランティア「若杉の会」会員及びボランティア活動に興味関心のある方(高校生以上)	5月31日(土) 6月1日(日)	41名 41名

2 施設の利用状況

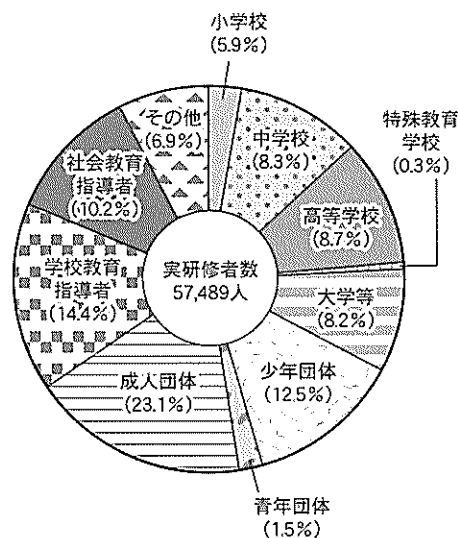
① 月別利用状況

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実研修者数	14	7,142	6,267	6,085	5,663	6,416	5,912	4,655	4,392	2,887	2,296	3,460	3,340	58,515
A	15	6,959	5,535	5,275	5,467	5,815	5,271	4,773	5,765	3,439	2,230	4,092	2,868	57,489
延研修者数	14	16,068	13,632	10,914	10,728	13,170	11,083	10,072	7,976	4,308	3,457	5,179	7,159	113,746
B	15	15,334	10,918	9,098	10,510	11,515	10,024	9,826	8,598	5,158	3,584	5,771	5,725	106,061
延宿泊者数	14	9,240	7,272	4,822	5,375	7,101	5,259	5,615	3,673	1,466	1,234	1,906	3,940	56,903
C	15	8,527	5,593	3,624	5,517	5,700	5,005	5,055	2,858	1,691	1,080	1,400	2,627	48,677
団 体 数	14	102	118	146	146	141	115	98	102	66	69	82	120	1,305
D	15	112	118	106	109	118	83	99	97	81	66	88	92	1,169
開 所 日 数	14	30	29	28	30	31	28	29	28	25	25	26	29	338
E	15	30	29	28	30	31	28	29	28	26	25	27	30	341
宿泊可能日数	14	30	27	26	29	31	26	27	26	22	23	24	27	318
F	15	30	27	26	29	31	26	27	26	24	23	25	29	323
研修者数	14	535.6	470.1	389.8	357.6	424.8	395.8	347.3	284.9	172.3	138.3	199.2	246.9	336.5
B/E→G	15	511.1	376.5	324.9	350.3	371.5	358.0	338.8	307.1	198.4	143.4	213.7	190.8	311.0
利用 率	14	169.5	148.8	123.4	113.2	134.4	125.3	109.9	90.2	54.5	43.8	63.0	78.1	106.5
G/316→H	15	161.7	119.1	102.8	110.9	117.6	113.3	107.2	97.2	62.8	45.4	67.6	60.4	98.4
宿泊人数	14	308.0	269.3	185.5	185.3	229.1	202.3	208.0	141.3	66.6	53.7	79.4	145.9	178.9
C/F→I	15	284.2	207.1	139.4	190.2	183.9	192.5	187.2	109.9	70.5	47.0	56.0	90.6	150.7
宿泊 率	14	97.5	85.2	58.7	58.6	72.5	64.0	65.8	44.7	21.1	17.0	25.1	46.2	56.6
I/316→J	15	89.9	65.5	44.1	60.2	58.2	60.9	59.2	34.8	22.3	14.9	17.7	28.7	47.7



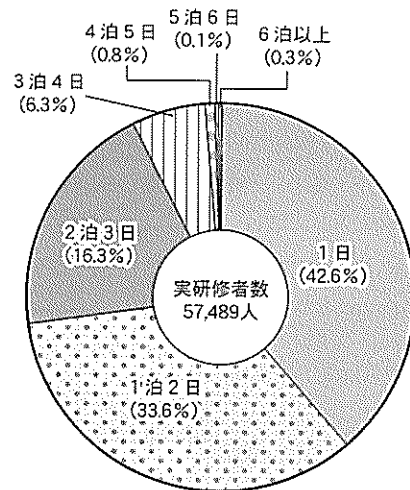
② 団体種別

区 別	合 計		割合
	団体数	研修者数	%
学 校 利 用			
小 学 校	59	3,364	5.9%
中 学 校	48	4,771	8.3%
高 等 学 校	43	4,973	8.7%
特 殊 教 育 学 校	5	151	0.3%
大学・短大・高専・専修・各種学校	40	4,737	8.2%
小 計	195	17,996	31.4%
少 年 団 体	145	7,210	12.5%
青 年 団 体	27	879	1.5%
成 人 団 体	479	13,253	23.1%
学 校 教 育 指 導 者	108	8,279	14.4%
社 会 教 育 指 導 者	126	5,890	10.2%
そ の 他	89	3,982	6.9%
合 計	1,169	57,489	100.0%



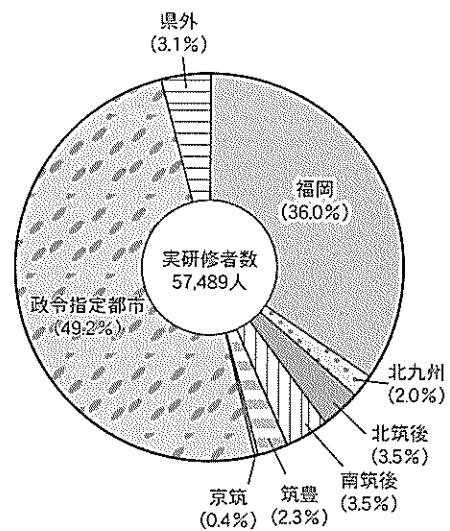
③ 宿泊数別

区 別	合 計		割合
	団体数	研修者数	
1 日	752	24,482	42.6%
1 泊 2 日	274	19,315	33.6%
2 泊 3 日	90	9,366	16.3%
3 泊 4 日	39	3,644	6.3%
4 泊 5 日	9	433	0.8%
5 泊 6 日	1	76	0.1%
6 泊 以 上	4	173	0.3%
合 計	1,169	57,489	100.0%



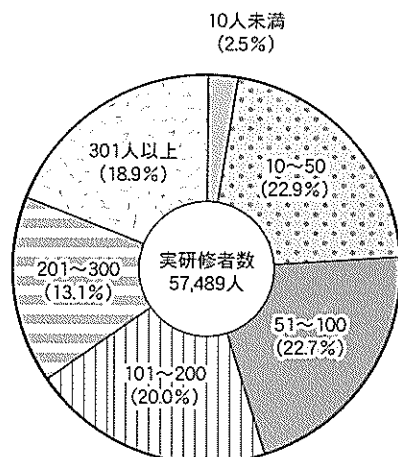
④ 地域別

区 別	合 計		割合
	団体数	研修者数	
福 岡	594	20,698	36.0%
北 九 州	15	1,146	2.0%
北 筑 後	21	2,015	3.5%
南 筑 後	63	2,019	3.5%
筑 豊	39	1,306	2.3%
京 筑	8	245	0.4%
政 令 指 定 都 市	388	28,263	49.2%
県 外	41	1,797	3.1%
合 計	1,169	57,489	100.0%



⑤ 団体規模別

区 別	合 計		割合
	団体数	研修者数	
10人未満	300	1,410	2.5%
10～50	549	13,152	22.9%
51～100	180	13,028	22.7%
101～200	85	11,520	20.0%
201～300	30	7,515	13.1%
301人以上	25	10,864	18.9%
合 計	1,169	57,489	100.0%



3 学習相談状況

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	相談方法		
相 談 件 数		102	164	175	233	148	120	122	114	92	84	57	53	1,464	来所	電話	文書
相 談 人 数		103	164	175	226	145	124	122	114	92	84	57	53	1,459			
相 談 者 別 内 訳	① 市 町 村 (首長部局・教委等)	41	59	50	57	36	40	35	31	29	30	22	29	459	39	420	
	② 県 (知事部局・③を除く教委)	3	3	9	3	12	5	6	4	1	1	1	1	49	13	35	1
	③ 教 育 事 務 所 ・ 県立社会教育施設	16	20	13	17	14	7	9	2	2	6		3	109	14	95	
	④ 学 校 (幼・小・中・高・大)	17	41	59	41	20	40	44	49	25	23	19	8	386	90	296	
	⑤ 団 体 ・ グ ル ー プ	8	25	27	31	32	14	18	20	24	20	10	9	238	60	178	
	⑥ 個 人	9	9	8	78	30	5	4	6	7	2	3	2	163	91	72	
	⑦ 県 外 (県・市町村・その他)	4	6	4	4	4	8	6	2	4	2	2		46	2	44	
	⑧ そ の 他	4	1	5	2		1						1	14	6	8	
計		102	164	175	233	148	120	122	114	92	84	57	53	1,464	315	1,148	1
相 談 分 野 別 内 訳	① 施 設	3	3	1	8	8	2	6	3	2		1		37	3	34	
	② 団 体 ・ グ ル ー プ	1	1	2	1	1	2	2	2			3		15	2	13	
	③ 人 材	20	33	21	21	18	12	7	6	10	14	4	6	172	7	165	
	④ 催 し	2		1	2	2		1		1	2			11	6	5	
	⑤ 図 書 ・ 資 料	8	20	12	71	29	5	6	2	3	1	1	2	160	119	41	
	⑥ 視 聴 覚 教 材	45	74	113	107	68	87	97	93	68	60	42	40	894	162	732	
	⑦ 資 格		1	2	2				2					7		7	
	⑧ 窓 口	2	4	6	2		1						1	16		16	
	⑨ そ の 他 (含先進地視察など)	21	28	17	19	22	11	3	6	8	7	6	4	152	16	135	1
計		102	164	175	233	148	120	122	114	92	84	57	53	1,464	315	1,148	1

注) H10年度から、図書・資料利用者を含む。

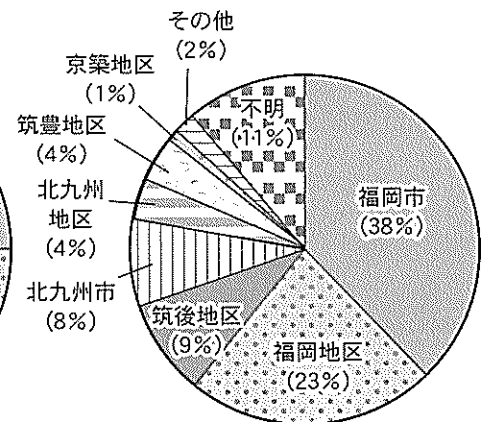
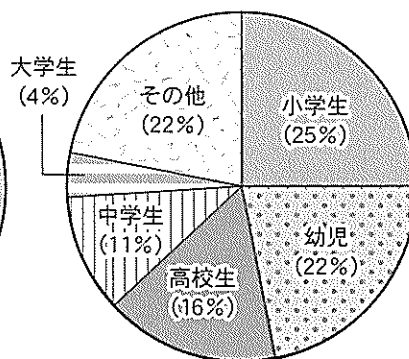
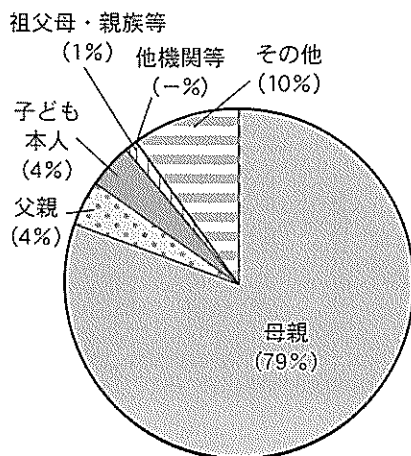
4 家庭教育相談「親・おや電話」

① 月別相談件数

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼 間	118	123	100	97	62	97	111	90	72	73	80	88	1,111
夜 間	36	39	31	42	28	47	42	33	25	21	42	28	414
昼 + 夜	154	162	131	139	90	144	153	123	97	94	122	116	1,525

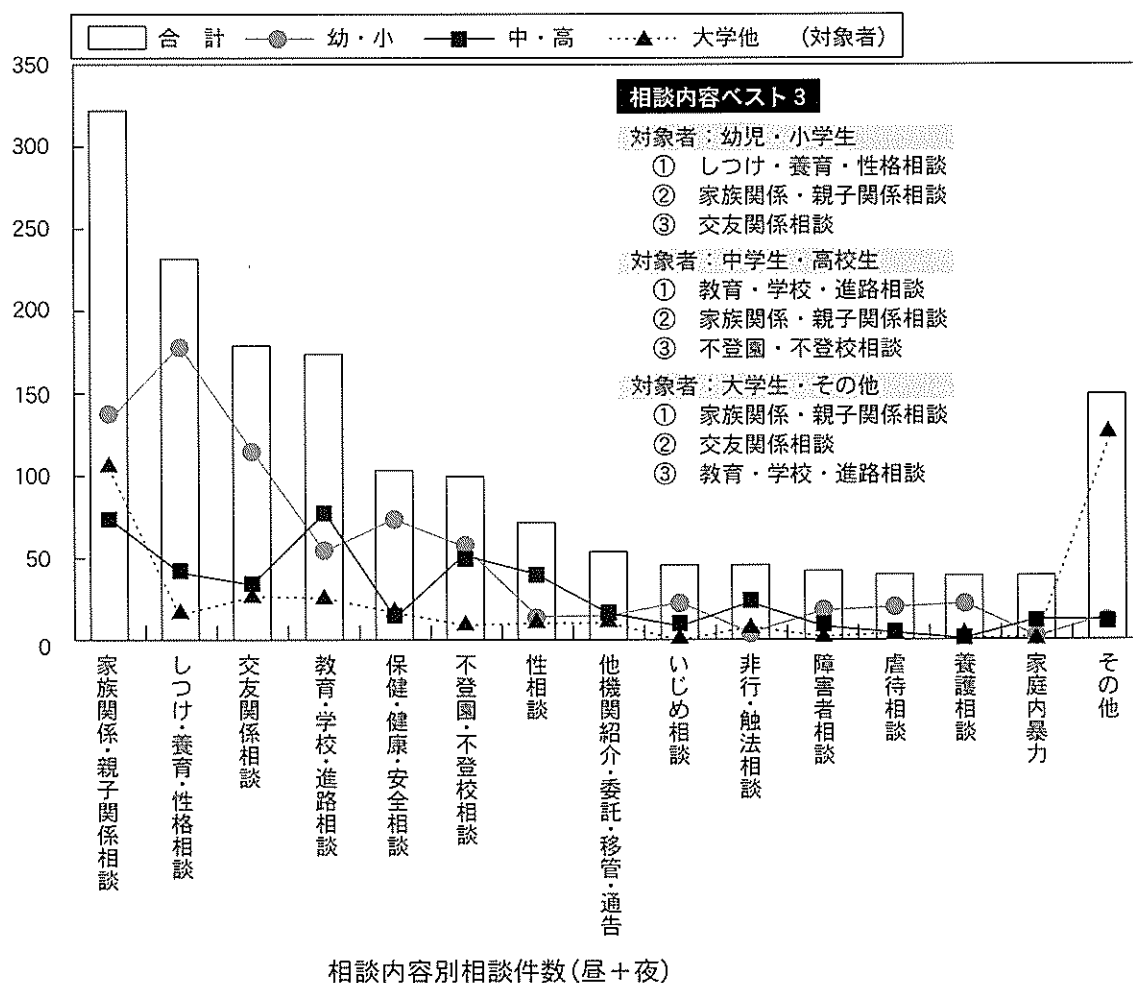
② 相談者・対象者・地区別相談件数

		昼 間	夜 間	昼 + 夜	割 合
相 談 件 数		1,111	414	1,525	100%
相 談 者	母 親	882	328	1,210	79%
	父 親	53	13	66	4%
	子 ども 本 人	28	38	66	4%
	祖 父 母 ・ 親 族 等	18	4	22	1%
	他 機 関 等	3	4	7	—
	そ の 他	127	26	153	10%
	小 計	1,111	414	1,525	100%
対 象 者	幼 児	204	124	328	22%
	小 学 生	290	94	384	25%
	中 学 生	135	35	170	11%
	高 校 生	177	65	242	16%
	大 学 生	29	39	68	4%
	そ の 他	276	57	333	22%
	小 計	1,111	414	1,525	100%
地 区	福 岡 市	412	167	579	38%
	北 九 州 市	78	40	118	8%
	福 岡 地 区	279	73	352	23%
	北 九 州 地 区	48	7	55	4%
	筑 豊 地 区	42	13	55	4%
	京 築 地 区	14	6	20	1%
	筑 後 地 区	103	41	144	9%
	そ の 他	26	6	32	2%
	不 明	109	61	170	11%
	小 計	1,111	414	1,525	100%



③ 相談内容別相談件数

相談内容	昼 間			夜 間			昼 + 夜			合 計	割 合
	対象者 幼・小	中・高	大学他	幼・小	中・高	大学他	幼・小	中・高	大学他		
家族関係・親子関係相談 (育児ストレス含む)	85	61	84	54	11	25	139	72	109	320	21%
しつけ・養育・性格相談	151	34	10	24	6	5	175	40	15	230	15%
交友関係相談(親同士含む)	78	19	17	33	12	11	111	31	28	170	11%
教育・学校・進路相談	45	64	23	13	13	3	58	77	26	161	11%
保健・健康・安全相談 (心身症・うつ・チック症含む)	31	8	3	41	5	14	72	13	17	102	7%
不登園・不登校相談	39	40	6	1	11	1	40	51	7	98	7%
性 相 談	9	21	10	3	19	0	12	40	10	62	4%
他機関紹介・委託・移管・通告	11	17	8	3	1	2	14	18	10	42	3%
いじめ相談(ケンカ含む)	18	8	0	5	2	0	23	10	0	33	2%
非行・触法相談	4	16	3	0	7	3	4	23	6	33	2%
障害者相談	5	6	0	12	3	1	17	9	1	27	2%
虐待相談	6	1	3	12	2	0	18	3	3	24	2%
養 護 相 談	5	0	0	16	0	0	21	0	0	21	1%
家 庭 内 暴 力	0	8	1	1	5	0	1	13	1	15	1%
そ の 他	9	8	120	2	2	10	11	10	130	151	10%
合 計	496	311	288	219	101	75	715	412	363	1,490	100%
	(不 明 16)			(不 明 19)			(不 明 35)				



施設概要

1 建築概要

- 敷地面積 201,750m²
- 建築面積 5,838m²
- 建物延面積 12,492m²
- 建築構造 鉄筋コンクリート造
- 建築工事期間 起工 昭和57年11月19日
竣工 昭和59年3月31日
- 総工事費 4,321,457,000円
- 開所 昭和59年4月1日

1階	2,725m ²
2階	4,958m ²
3階	2,434m ²
4階	2,315m ²
P1階 (塔屋)	60m ²

2 施設設備

1 宿泊施設・設備

階	施設名	面積(m ²)	定員	機能	設備
2～4階	宿泊室	延べ 1,262	316ベッド	宿泊	4人用 11室 8人用 34室
2・3階	談話室	延べ 241		交流、研修	
3階	浴室	155		大浴室、中浴室、身体障害者用浴室	

駐車場	80台	第1・第2駐車場
-----	-----	----------



② 研修施設・設備

階	室 名	定員(人)	機 能	設 備
4階	視 聴 覚 室	80	視聴覚研修（スロープ式研修室）	16ミリ・8ミリ映写機、ビデオ（VHS、β、Uマチック）、ステレオ、モニターテレビ、スライド
	パソコンルーム・調整室	20	パソコン研修	パソコン
	ボランティアルーム		ボランティアの交流	机、応接セット、書棚
	第 1 会 議 室	16	会議	机
	大 研 修 室	120	講義、研修	OHP、ビデオ（VHS）、16ミリ映写機、モニターテレビ
3階	音 楽 室	40	ミニコンサート、音楽練習場	ピアノ、電子オルガン、アコーディオン、ギター、ステレオ、円テーブル
	美 術 室	36	美術研修、工作	糸のこ切り、石こう像、版画プレス
	実 習 室	48	陶芸、七宝焼、木工の製作	陶芸窯、七宝焼炉、粘土ろくろ、木工具、金工具、電気のこ切り
	第 5 研 修 室	48	講義、研修	OHP、黒板、机
	和 室（第 3）	12	和式研修、茶道、華道	座テーブル、茶道具
2階	講 堂	500	大会、研修室、講演会、映写会	16ミリ映写機、スライド映写機、ピアノ、ステージ
	レ ス ト ラ ン	238	茶話会、軽食、喫茶、クッキング	パン工房
	第 1 研 修 室	18	講義、研修	OHP、黒板、机、移動式モニター
	第 2 研 修 室	18		
	第 3 研 修 室	30		
	第 4 研 修 室	60		
	自 由 研 修 室	60		
	和室（第 1・第 2）	45	和式研修室（16畳・20畳）	座テーブル
	体 育 館		バレー2面、バトミントン3面、バスケットボール1面（練習2面）、フリーテニス（3面）	各種ネット、柔道畳、体力測定機
	プ レ イ ボ ール		軽スポーツ、交流の場、レクリエーション	
1階	資 料 室		生涯学習関係の図書、資料の閲覧	書棚、閲覧机
	交 流 ホ ール		交流、憩いの場、学習作品の展示	テレビ、応接セット
	控 室		講師控室、学習相談	机、応接セット
	所 長 室・事 務 室		所の管理運営	
	視聴覚ライブラリー		視聴覚教材の貸出し、相談	16ミリ映画、ビデオ教材
野外施設	グ ラ ウ ンド	400	ソフトボール、サッカー	各種スポーツ用具
	野 外 炊 飯 場	100	調理炊飯	炊飯用具一式
	あじさい炊飯場	50	野外炊飯	調理台
	野 外 劇 場	60	キャンプファイヤー、レクリエーション、野外音楽	ベンチ
	レクリエーション広場		レクリエーション	
	野 鳥 観 察 小 屋	30	野鳥観察	観察室、テーブル
	りんどう小屋	20	自然観察、天体観測、交流の場	荒天避難
	たけのこ広場	300	朝・夕のつどい、キャンプファイヤー	放送施設、全面舗装
	あじさい小屋	20	工作	陶芸窯
	あじさい広場	100	工作	

3 福岡県視聴覚ライブラリー

① 視聴覚教材

社会教育総合センター内に県視聴覚ライブラリーを設置し、次のような教材の貸出をおこなっています。

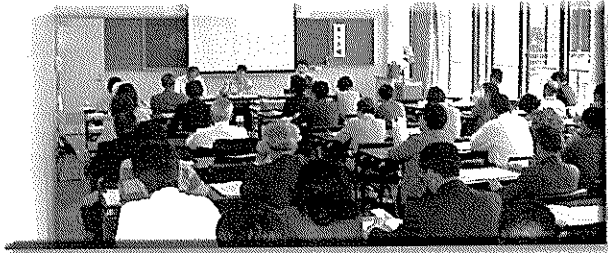
16ミリフィルム	1,286本
ビデオ	2,113本
合計	3,399本

領域の内訳

	領 域	16ミリフィルム	ビデオ		領 域	16ミリフィルム	ビデオ
学 校 教 育	国 語	19	60	社 会 教 育	教 養 ・ 情 操	241	561
	社 会	82	245		健 康 ・ 体 力	69	94
	算 数 ・ 数 学	6	3		家 庭 生 活	56	69
	理 科	120	170		家 庭 教 育	111	299
	生 活 科	2	6		地 域 社 会 生 活	163	245
	音 楽	5	11		人 権 ・ 同 和	152	106
	図 工 ・ 美 術	16	12		国 民 生 活	37	101
	技 術 ・ 家 庭	8	16		国 際 性	17	58
	保 健 ・ 体 育	37	117		職 業 生 活 一 般	9	15
	道 徳	61	130		職 業 の 知 識 ・ 技 術	2	44
	特 別 活 動	77	269		学 習 者 の 特 性	52	66
					学 習 援 助 の 方 法	54	104
				自 作 ビ デ オ	社 会 教 育 施 設	18	7
					一 般 映 画	84	104
					県コンクール入賞作品		76
					社教センター作品		13
					ア ニ メ ー シ ョ ン 作 品	192	206

(平成16年4月1日現在)

※所有本数と領域別の合計本数が異なるのは、1本のフィルム又はビデオが複数の領域で活用が出来るためです。



4 利 用 案 内

当センターは、広く県民の生涯学習を推進する社会教育施設であり、いつでも、だれでも利用出来る体制を整備しています。

利 用 内 容		申 し 込 み 方 法 等	備 考
相 談	学習相談	だれでも気軽に相談できます。 ☎092-948-0728 E-mail:soudan@fsg.pref.fukuoka.jp	専門の相談員を配置しています。電話による相談の他電子メールによる相談も受付けています。
	学庭教育相談 「親・おや電話」	だれでも気軽に相談できます。 ☎092-947-3515 月曜日～土曜日まで9:00～24:00 (ただし、第2月曜日・祝日・年末年始を除く)	専門の相談員を配置しています。
	体験活動ボランティアに関する相談	だれでも気軽に相談できます。 体験活動ボランティア活動支援センター ☎092-948-0728	専門の相談員を配置しています。
図 書 資 料 関 覧		資料室・ロビーの資料が閲覧できます。	
視 聴 覚 教 材 の 利 用		利用申し込みは利用の3か月前から受け付けます。 電話での申し込みによる発送も行います。貸出期間は7日以内、一回の貸し出しは5本以内とします。 受付は休所日を除く毎日8:30～17:00 ☎092-947-3514	
研 修		主催事業の他、学校やグループ団体等の研修の受入れをしています。適正な研修計画であれば、だれでも利用できます。また、5人以上であれば、宿泊研修もできます。(P20～22参照) 利用開始日の6か月前から1か月前までに申し込んでください。 事前に電話で相談してください ☎092-947-3511	ただし、全国規模の大会や研究集会、学校の教育計画として行う研修などで、特に必要があると認めた場合は1年前から申し込みを受け付けます。
見 学 ・ 視 察	団 体	見学希望日の1週間前までに電話で申し込んでください ☎092-947-3511	
	個 人	随時受け付けます。	

○休 所 日

毎月第2月曜日、第4日曜日、年末年始(12月28日～翌年1月4日)

○必要な経費

施設設備を使用する場合は、福岡県立社会教育総合センター使用料条例(昭和58年福岡県条例第24号)に定める使用料が必要です。

その他、食費として朝食380円(小370円・幼200円)、昼食590円(小560円・幼300円)、夕食 660円(小620円・幼330円)と、宿泊研修の場合、シーツのクリーニング代120円が必要です。

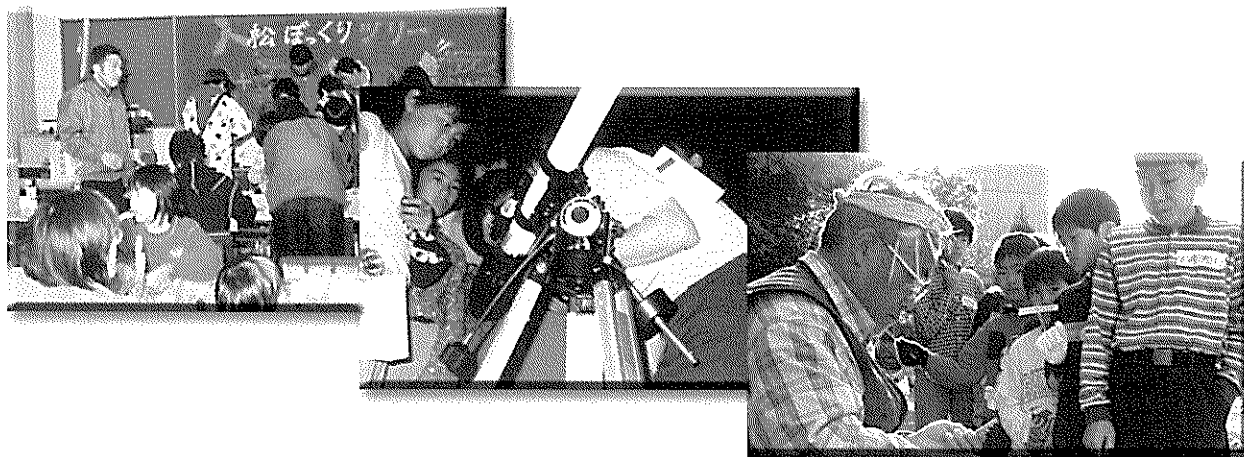
※()内の小は小学生料金、幼は幼児(4才以上就学前)料金です。

5 使用料一覧

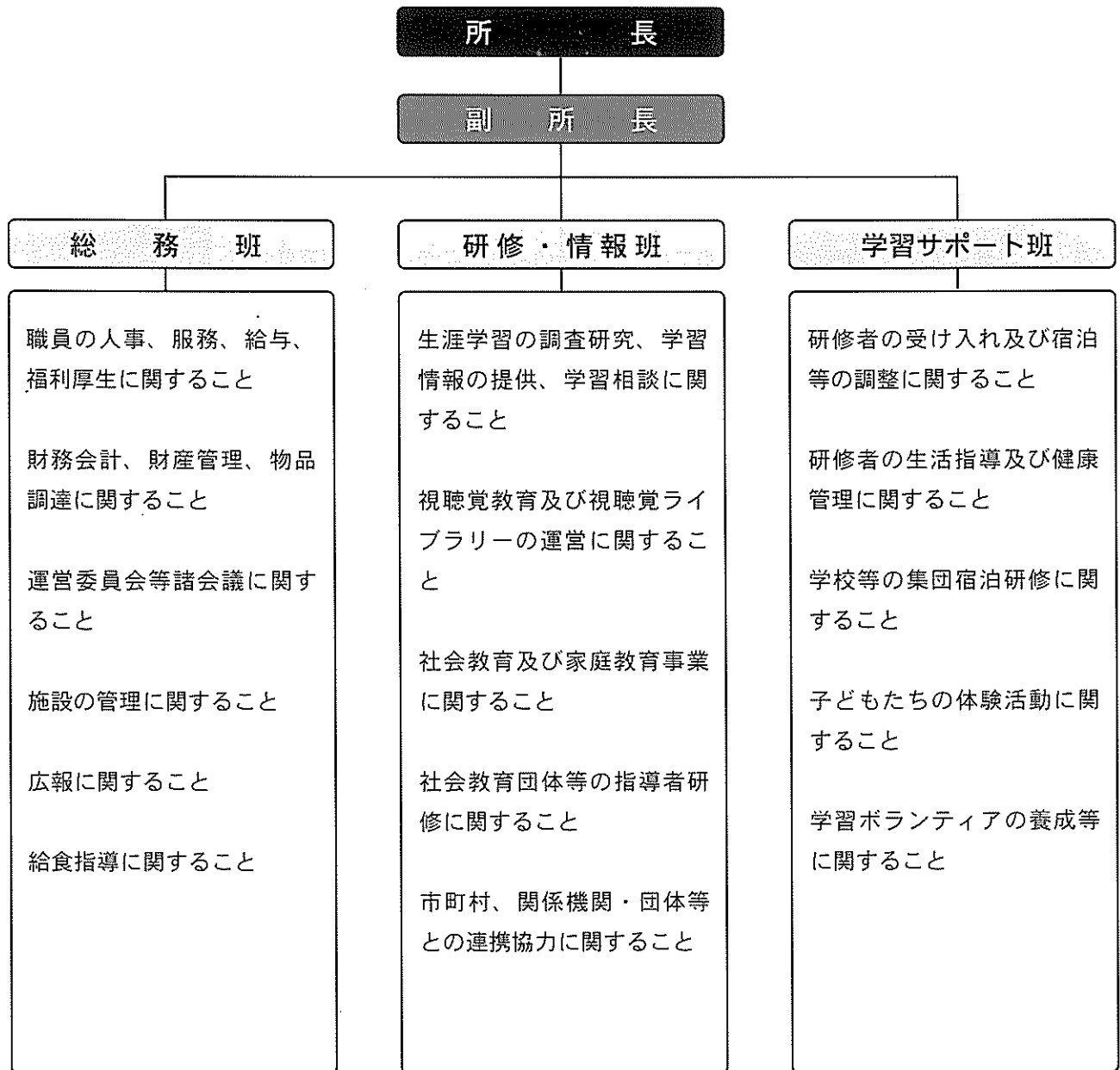
研修室使用料一覧表

	利用時間 ↓ 研修室	9:00 ↓ 12:00	13:00 ↓ 17:00	19:00 ↓ 21:00	9:00 ↓ 17:00	13:00 ↓ 21:00	9:00 ↓ 21:00
2 F	第1研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第2研修室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第3研修室	1,050円	1,400円	700円	2,800円	2,800円	4,200円
	第4研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	自由研修室	1,950円	2,600円	1,300円	5,200円	5,200円	7,800円
	第1和室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	第2和室	690円	920円	460円	1,840円	1,840円	2,760円
	講 堂	10,680円	14,240円	7,120円	28,480円	28,480円	42,720円
3 F	音 楽 室	2,490円	3,320円	1,660円	6,640円	6,640円	9,960円
	美 術 室	1,410円	1,880円	940円	3,760円	3,760円	5,640円
4 F	大 研 修 室	3,180円	4,240円	2,120円	8,480円	8,480円	12,720円
	視 聴 覚 室	3,540円	4,720円	2,360円	9,440円	9,440円	14,160円
	宿 泊 室	1人1泊につき 1,180円					

※料金は税込みです。研修に必要な機材等の要望がありましたら、あらかじめ学習サポート班にお問い合わせください。(092-947-3511)



組 織 ・ 機 構



社会教育総合センターのグループ制 (平成16年4月1日実施)

所長、副所長の下に課を置かないで、施業・業務のまとまりごとに複数のグループ（班）を置いています。

目 的

- ① 意志決定を迅速化し、課題への対応をスピード化すること。
- ② 人の配置を柔軟に行い人材の有効活用を図ること。
- ③ 所属の事務を全員で行うという意識改革を行い、縦割り意識からの脱却を図ることを目的としています。



職員数

(平成16年度)

		常勤職員	非常勤職員	臨時職員	計
職員数	所 長	1			1
	副 所 長	1			1
	総 務 班	4	1	1	6
	研 修 ・ 情 報 班	8 (1)	7	1	16 (1)
	学 習 サ ポ ー ト 班	5 (1)	7	1	13 (1)
視 聴 覚 教 育 協 会				1	1
計		19 (2)	15	4	38 (2)

() は育休・産休者で内数



職員一覧

所 長 重 松 孝 士
副所長 濱 田 信 也

班名	班長	班 員												
総務班	生田 潔	企 画 主 査 事 務 主 査 主 事	鶴 岡 始 西 村 隆 信 三 村 哲 平	技 術 嘱 託 臨 時 職 員	末 永 あゆみ 辻 真 子									
研修・情報班	横井 秀幸	企 画 主 幹 社 会 教 育 主 事 社 会 教 育 主 事 社 会 教 育 主 事 社 会 教 育 主 事 主 任 主 事 社 会 教 育 主 事 補 臨 時 職 員	中 恵 尾 秀 樹 小 良 章 治 肘 野 篤 志 朝 比 井 俊 広 白 奈 昌 二 菅 木 市 康 藤 原 順 子 井 麻 湖	指 指	導 導	員 員	今 中 兵 一 黒 葛 原 志 保 子 三 根 弘 子 相 戸 晴 子 井 口 弥 江 東 紀 子 山 口 喜 美 代							
学習サポート班	瓜生 郁義	指 導 主 事 指 導 主 事 社 会 教 育 主 事 社 会 教 育 主 事 補 臨 時 職 員 指 導 員	吉 村 一 幸 田 中 廣 志 安 部 章 村 上 優 子 橋 崎 紗 美 今 泉 暢 禎	指 指	導 導	員 員	楠 本 誠 司 井 手 賢 一 郎 武 富 時 敏 庄 嶋 勝 司 具 島 幸 子 貞 包 周 二							
視聴覚教育協会		臨 時 職 員 堀 田 信 子												

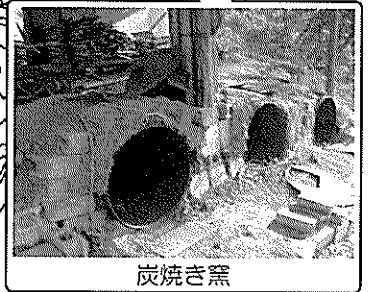
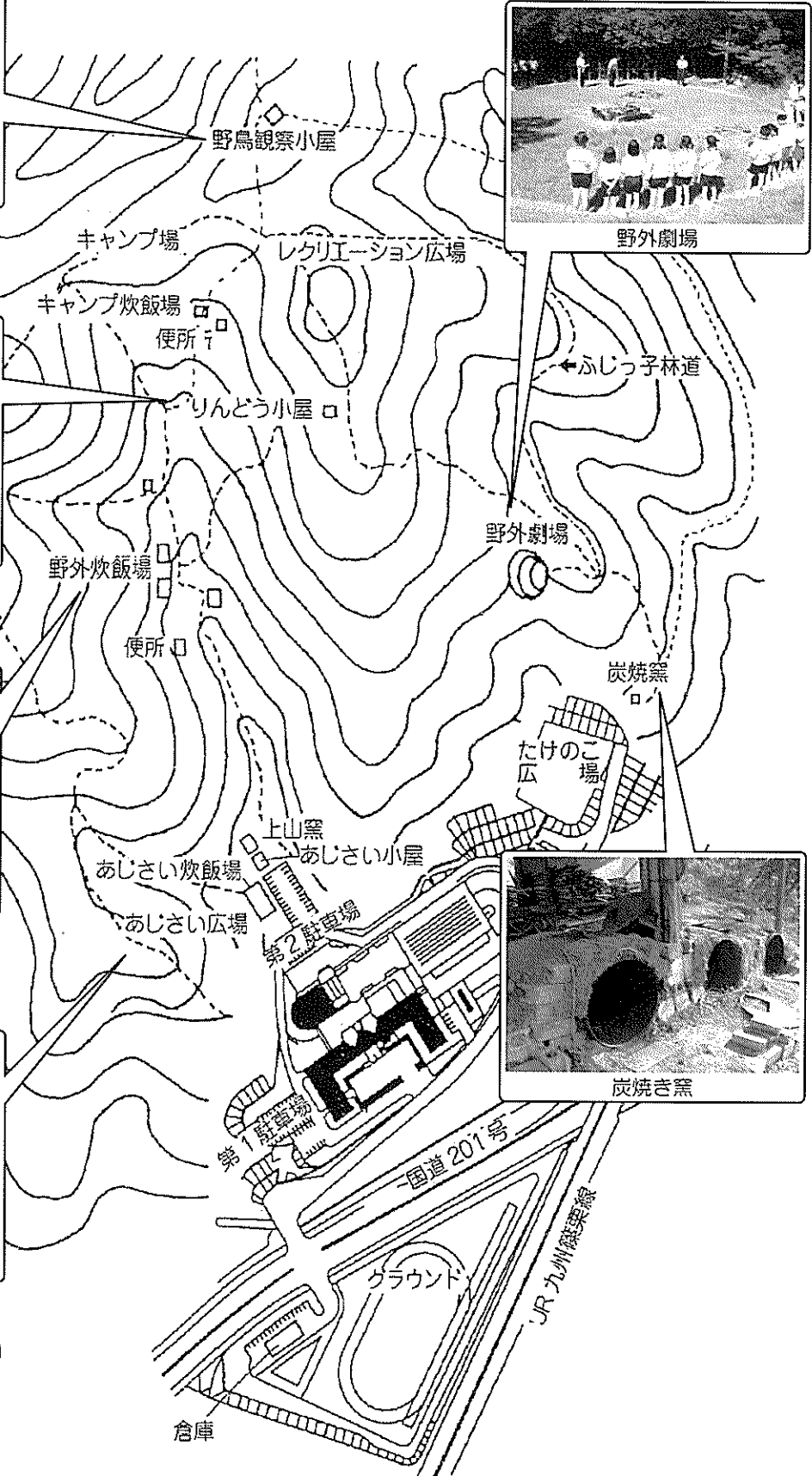
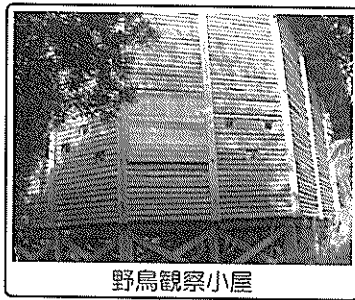


沿革

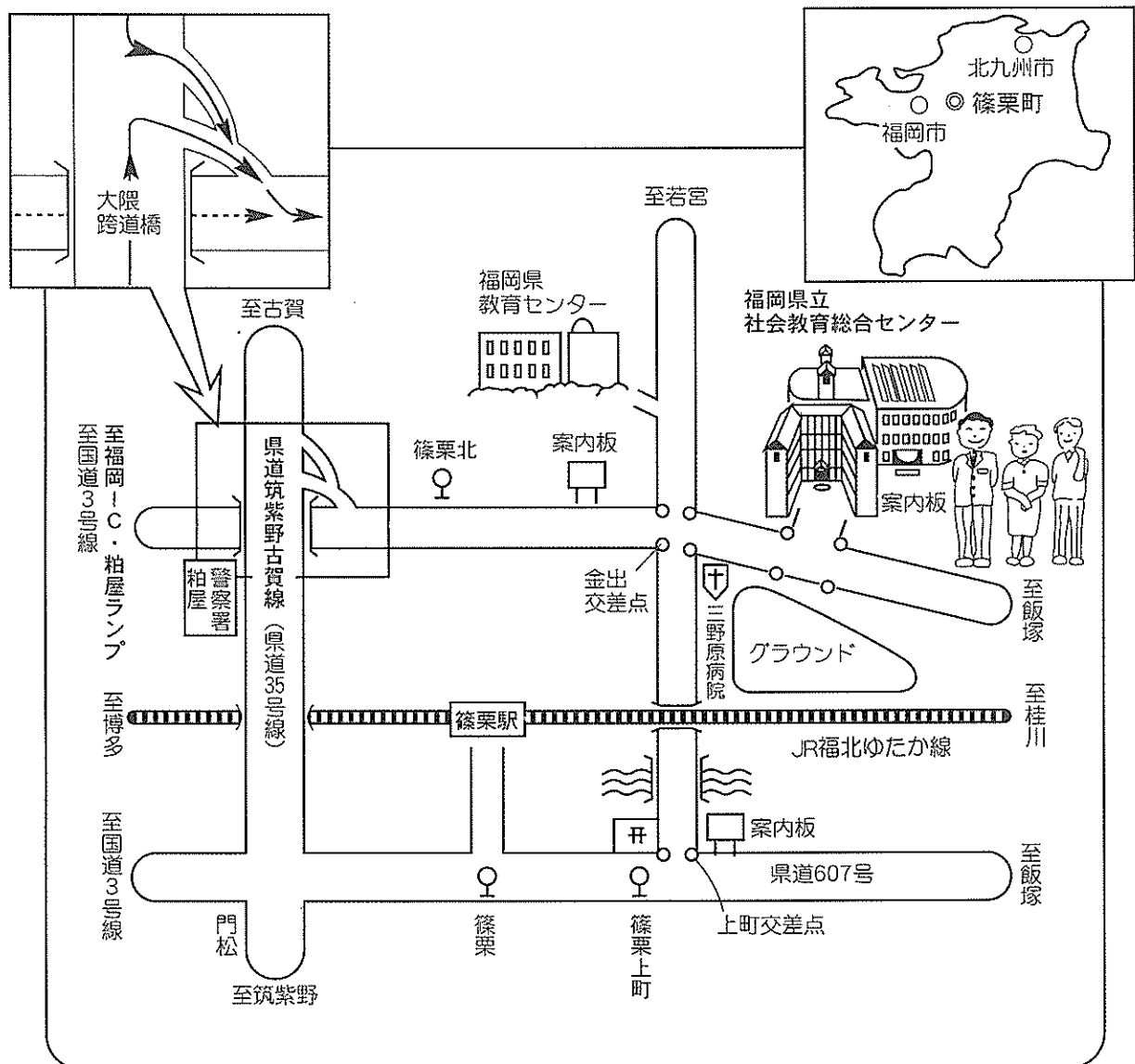
昭和53年 9月27日	県社会教育委員の会議で社会教育総合センターの設置についての機運が高まる。
10月 6日	県議会一般質問で社会教育総合センターの設置について質問がでる。
12月 4日	県社会教育委員の会議が県教育委員会に対して、社会教育総合センターの早期設置を建議する。
12月14日	県議会一般質問で社会教育総合センターの設置について、知事は、昭和54年度に調査費を計上し、昭和55年度に着工したい旨答弁する。
昭和54年 1月30日	社会教育関係団体が、16団体の連名で、県立総合社会教育施設の早期実現について知事に陳情する。
4月以降	社会教育課、青少年対策課を中心に先進地調査、準備委員会の人選などに入る。
7月18日	昭和54年度当初予算で調査費として、社会教育課、青少年対策課に各100万円が計上される。
11月28日	社会教育総合センター建設用地として糟屋郡篠栗町が浮上する。
12月10日	「第1回意見を聴く会」が開催される。社会教育総合センターの機能、施設内容について協議する。
12月21日	「第2回意見を聴く会」が開催される。事業内容、建設用地について協議する。
12月28日	篠栗町議会が全員協議会で社会教育総合センターの誘致を決議する。
昭和55年 1月19日	「第3回意見を聴く会」が開催される。
8月 8日	社会教育総合センター建設用地が篠栗町に決まる。
昭和57年 1月11日	造成工事に着工する。
11月19日	建築工事に着工する。
12月10日	造成工事が完了する。
昭和58年 4月 1日	福岡県立社会教育総合センター設立準備担当職員5人が発令される（社会教育課内）。
12月26日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例（昭和58年福岡県条例第24号）が公布される。
昭和59年 1月10日	福岡県立社会教育総合センター設立準備室が社会教育課内に設置（職員7人）される。
1月10日	研修団体の利用申込みの受付を始める。
1月26日	建築工事定礎式が行われる。
3月 1日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家組織規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第1号）が公布される。
3月 1日	福岡県立社会教育総合センター等の利用等に関する規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第3号）が公布される。
3月15日	福岡県立社会教育総合センター使用料条例施行規則（昭和59年福岡県教育委員会規則第9号）が公布される。
4月 1日	福岡県公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（昭和58年福岡県条例第23号）により、福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家が設置される。
4月 1日	安部徹所長（県教育庁教育次長兼任）以下34人が福岡県立社会教育総合センター職員に発令される。
4月10日	福岡県視聴覚教育協会事務局の社会教育総合センター内への移転に伴い、県視聴覚ライブラリーを同センターに開設する。
8月20日	社会教育総合センターの所章（シンボルマーク）が決まる。

9月10日	福岡県立社会教育総合センター及び福岡県立社会教育総合センター少年自然の家の落成式を挙げる。
昭和60年3月9日	野外活動施設（野鳥観察小屋、野外劇場、レクリエーション広場、体育庫、避難小屋）が完成する。
5月16日	視聴覚教材の利用等に関する規則（昭和60年福岡県教育委員会規則第7号）が公布される。
昭和61年4月1日	第2代所長に加来宣幸、次長に高倉豊が就任する。
12月20日	上山窯が完成する。
昭和63年4月1日	第3代所長に山口春禮、次長に古賀雉里が就任する。
平成元年4月1日	第4代所長に濱地甫伯が就任する。
6月14日	第5代所長に鹿毛勲臣が就任する。
7月	社会教育総合センター施設ボランティア「若杉の会」が発足する。
平成3年4月1日	副所長に小野敏弘が就任する。
平成4年4月1日	第6代所長に窪田康徳が就任する。
7月24日	社会教育総合センターの利用者が100万人を突破する。
12月24日	キャンプ炊飯場新設。
平成5年4月1日	第7代所長に松崎輝生が就任する。
平成6年4月1日	第8代所長に大神俊明、副所長に石川元彬が就任する。
10月16日	あじさい小屋が完成する。
平成8年4月1日	第9代所長に森本精造、副所長に弥永親一が就任する。
9月1日	施設ボランティア「若杉の会」の名称を学習ボランティア「若杉の会」に変更する。
平成10年4月1日	副所長に伊藤高次が就任する。
5月	ふくおか生涯学習ネットワーク運用開始する。
7月14日	レストランがバイキング化され、パン工房が設置される。
平成11年2月12日	炭焼窯が完成する。
3月	学習ボランティア「若杉の会」10年のあゆみを発行し、5月8日に10周年記念交流会を開催する。
4月1日	副所長に正平辰男が就任する。
平成12年3月31日	山道等災害復旧工事が完了する。
4月1日	第10代所長に瓜生浩平、副所長に原宜賢が就任する。
4月	ふじっ子林道が開通する。
平成13年2月	パソコンルームを設置する。
4月1日	第11代所長に安野義勝、副所長に宿里聰士が就任する。
11月18日	社会教育総合センターの利用者が200万人を突破する。
平成14年4月1日	第12代所長に重松孝士が就任する。
平成15年3月	緊急地域雇用創出特別基金事業により、山林を整備する。
平成15年4月1日	副所長に濱田信也が就任する。
平成15年11月14日	創立20周年記念行事（式典、体験活動フォーラム、体験活動カーニバル）を実施。
平成15年12月1日	正門前に信号機設置。
平成16年3月31日	あじさい炊飯場が完成する。
平成16年4月1日	福岡県立社会教育総合センター組織・機構改編（グループ制導入）

施設配置図



交通案内



JR九州利用の場合

福北ゆたか線（篠栗線）「篠栗駅」下車

- ・徒歩 約20分
- ・バス（篠栗～篠栗上町）約5分
「篠栗上町」下車徒歩 約7分
- ・タクシー 約5分

バス利用の場合

西鉄バス

（篠栗駅経由）

福岡、飯塚、田川線（急行・普通）

「篠栗上町」下車徒歩 約7分

（バイパス経由）

福岡、飯塚、田川線（特急）

「篠栗北」下車徒歩 約20分

自動車利用の場合

博多駅から約30分、飯塚駅から約30分

博多ICから約10分（九州自動車道利用）

粕屋ランプから約12分（福岡都市高速利用）

みなさんの学びをサポートします

ふくおか生涯学習ネットワーク

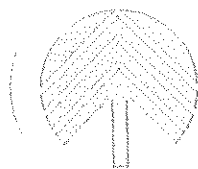


URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>

ふくおか生涯学習ネットワークでは……

県内10カ所の社会教育関係施設の情報を閲覧できるほか、県内のスポーツ情報、文化財の情報、市町村の情報及び下記の情報を取得できます。

- 講座情報**
県民の方が参加できる講座・教室・講演会の情報及びその開設機関の情報検索ができます。
- 研修情報**
家庭教育・青少年教育・社会教育・学校教育・婦人教育・成人教育・視聴覚教育・ボランティア活動関係の研修情報を提供しています。
- 講師情報**
県内全域で活動できる各分野の講師・指導者の情報検索ができます。
- 図書情報**
県立図書館の横断検索により、福岡県内のおもな公立図書館の和図書の蔵書検索ができます。
- 視聴覚教材情報**
県視聴覚ライブラリーの貸出可能な16ミリフィルム、ビデオテープの情報検索ができます。
- お知らせ**
生涯学習・社会教育に関する関連情報を提供しています。
- 掲示板**
生涯学習に興味をお持ちの方が、自由に情報交換を行うことができる電子掲示板です。
- メールマガジン**
生涯学習に関心のある方に、社教センターを中心に県や市町村等の生涯学習・社会教育情報を電子メールで送付します。



所 章

社会教育総合センターが、県民の生涯学習を推進する中心的な施設として充実発展していくことを願って、木が上へ上へと伸び、大きな繁りとなっていく姿をイメージしています。

福岡県立社会教育総合センター要覧

編集・発行 福岡県立社会教育総合センター
〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町金出3350-2

電話番号 (092)947-3511(代表)
(092)947-3514(視聴覚ライブラリー)
(092)947-3515(家庭教育相談「親・おや電話」)
(092)948-0728(学習相談)
(092)947-8222(テレホンサービス)
(092)947-8029(FAX)